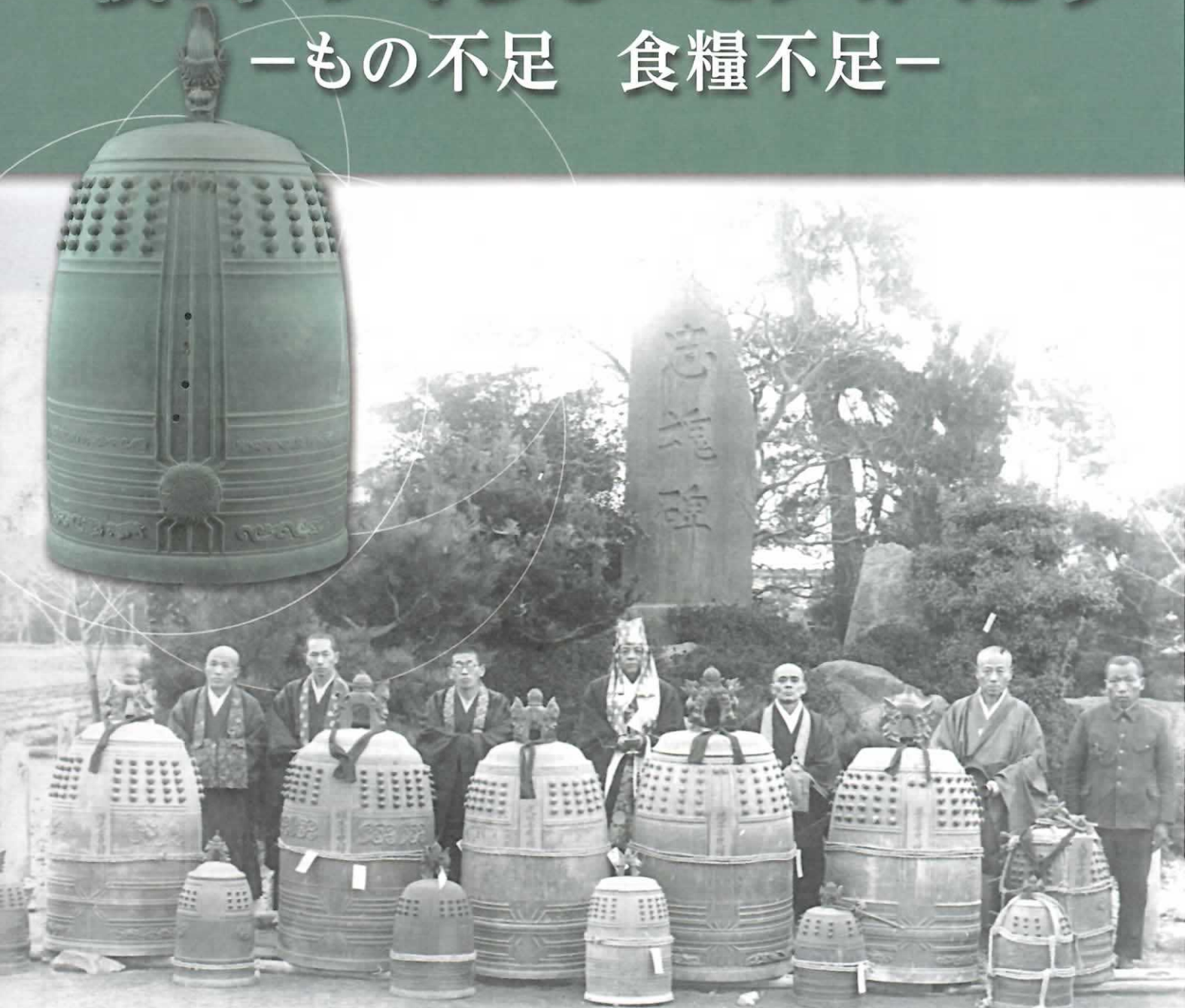


滋賀県平和祈念館 第18回企画展示

戦時のくらし モノがたり

—もの不足 食糧不足—



左上: 供出から戻ってきた安楽寺梵鐘(栗東歴史民俗博物館 提供)
中央: 供出に集められた梵鐘(旧神崎郡平田村)(旧八日市市 提供)

平成29年

9月9日 土 — 12月24日 日 <入館無料>



滋賀県平和祈念館

おかげさまで 開館5周年

〒527-0157 滋賀県東近江市下中野町431番地
TEL / 0749-46-0300 FAX / 0749-46-0350
E-mail / heiwa@pref.shiga.lg.jp

開館時間 / 午前9時30分～午後5時

休館日 / 月・火曜日(祝日にあたる場合は開館)

駐車場 / 約50台(無料)

戦時の暮らし モノがたり —もの不足 食糧不足—

いまから約80年前、日本は中国と東南アジアを植民地とするアメリカ・イギリス・オランダなど、日本を取り囲むほとんどの国と激しい戦争をしました。資源が乏しい日本は人材・物資などのすべてを戦争にそそぎこむ「国家総動員」体制でのぞんだため、国民は極端な耐乏生活をしなければならぬ。軍事物資のために供出させられた金属製品にかわって陶器・布・紙製の代用品を使用し、米や野菜にかわって「代用食」を食べるのが日常になりました。今回は当時の耐乏生活のようすをモノ資料と体験談で紹介します。



【関連講演会】

平成29年10月22日(日) 13:30 ~

◇井上 優氏(滋賀県教育委員会文化財保護課主幹)

「梵鐘を守れ!—文化財保護をめぐる戦時下の裏面史—」

文化財として後世に残すため、供出命令が出た梵鐘の救出に奔走した文化財技師・日名子元雄さんについてお話しいたします。

【戦争体験を聞く会】※毎月1回開催

戦争体験者の貴重な体験談を実際にお話しいたします

【映画上映会】※毎月1回開催

戦争をテーマにした国内外の名作を上映

【地域交流室展示のご案内】

『ヒロシマ・ナガサキ原爆写真ポスター展』

(8月31日まで)

『ミニ“原爆の凶”展』(8月20日まで)

丸木位里・俊夫妻作品のミニ展示。

【催し物のご案内】

◇学芸員による展示案内 / 9月9日(土) 13:30 ~

◇子ども向け体験学習『平和の学校あかり・ピーススクール』
年間14回の講座を開講します。夏休みの宿題にもぴったり。

◇平和を祈念する日『今こそ語ろう、語り継ごう! 戦争のことを...』

8月13日(日) ~ 15日(火) 各種催し物を開催します。

平和祈念館からのお願い

【体験談に関して】

滋賀県平和祈念館では、国内外で戦争を体験した方の体験談を募集しています。対象は現在滋賀県にお住まいの方、または滋賀県に関係して戦争・戦時下の生活を体験した方です。調査員がうかがってお話を聞きます。とくに沖縄戦に関する体験をなさった方を探しています。

【資料寄贈に関して】

戦没された方の遺品、戦時に使っておられた品物、戦争に関わる書類・写真等を寄贈していただける方を探しています。戦争体験者ご本人の体験内容がわかるとありがたいです。対象は体験談と同じです。また、滋賀県に関わる戦争体験談を集めた冊子・記事・手記、戦友会等の会報・冊子なども探しています。みなさまのご協力をお願いします。

詳しくは「滋賀県平和祈念館」までお問い合わせください

TEL / 0749-46-0300 FAX / 0749-46-0350
E-mail / heiwa@pref.shiga.lg.jp



詳しくはホームページ「しがけんバーチャル平和祈念館」をご覧ください。

しがけんバーチャル平和祈念館

検索